

3 神奈川のみちしるべ

- 神奈川県道路を取り巻く様々な課題を解決するために、昨年度実施した事業の達成状況を成果指標を用いて評価します。
- 歩行環境の向上を計る指標として「緊急対策踏切数」を追加しました。
- 中期的な目標についても参考として示しています。

神奈川県道路行政の方向性	生活の安全を守り、安心とゆとりを持って暮らせる地域の実現	都市環境を改善し、快適な生活環境を提供する地域の実現	我が国の経済活動や都市活動を担う、活力に満ちた地域の実現	個性的な文化を育み、豊かな余暇活動が楽しめる地域の実現	めざす姿	成果指標 指標の内容	H16年度 現況値	H17年度 目標値	H17年度 実績値 (達成状況)	H18年度 目標値	【参考値】 中期的な目標	掲載頁
依然として解消されない交通渋滞	◎	◎	◎		 心にゆとり スムーズ道路	1-1 渋滞箇所数 渋滞が著しい交差点等の箇所数。 対策を講じたことで渋滞が解消・緩和された箇所数を成果とする。	71箇所	67箇所 【4箇所削減】	69箇所 【2箇所削減】 未達成	68箇所 【1箇所削減】	5割 解消・緩和 (概ね10年後)	P7
						1-2 渋滞損失時間 渋滞によりドライバーや同乗者が失った時間を1年間にわたって合計したもの。 (乗車 87万人・平成16年度) 1人あたりの損失時間	163 百万人時間/年 【約18.6時間/年】	158 百万人時間/年 【5百万人時間/年削減】 【約18.1時間/年】	157 百万人時間/年 【6百万人時間/年削減】 【約17.9時間/年】 達成	157 百万人時間/年 【現状維持】 【約17.9時間/年】	3割減少 (概ね10年後) ※約12時間/年人	
多発する交通事故	◎				 安全ドライブ のびのび道路	2. 死傷事故率 1万台の車が1万キロ走行した場合に起こる死傷事故件数。	233 件/万台キロ	233 件/万台キロ 【現状維持】	227 件/万台キロ 【6件/万台キロ削減】 達成	227件/万台キロ 【現状維持】	削減 (概ね10年後)	P11
緊急を要する震災対策	◎				 地震に負けない しっかり道路	3. 橋りょうの耐震補強率 緊急輸送路等における重要橋りょうのうち耐震補強を実施した橋りょうの割合。	80%	90% 【10%向上】	87% 【7%向上】 未達成	93% 【6%向上】	概ね完了 (H19年度)	P15
安全・快適に歩けない歩行空間	◎				 安全・快適 らくらく歩行空間	4-1 バリアフリー化率 「交通バリアフリー法」に基づく基本構想地区の特定経路延長のうちバリアフリー化された道路延長の割合。	20%	30% 【10%向上】	28%⇒27%※ 【8%向上】 未達成	43% 【16%向上】	6割に向上 (H19年度)	P17
						4-2 無電柱化計画延長に対する無電柱化率 無電柱化計画延長のうち無電柱化を実施した延長の割合。	73%	77% 【4%向上】	77% 【4%向上】 達成	80% 【3%向上】	9割に向上 (H19年度)	
						4-3 緊急対策踏切数 新指標 「開かずの踏切」や歩道が狭く危険な踏切等緊急対策が必要な踏切数。	—	—	117箇所 (現況値)	114箇所 【3箇所削減】	5割削減 (概ね10年後)	
物流の効率化	◎		◎	◎	 活力伸ばす ぐんぐん道路	5. ICへの20分到達圏域 県土全体面積のうち最寄りのインターチェンジまで20分で到達できる面積の割合。	60%	60% 【現状維持】	60% 【現状維持】	60% 【現状維持】	7割に向上 (概ね10年後)	P21
観光の楽しみを半減させる交通渋滞			◎	◎	 魅力いっぱい わくわく道路				現状維持	現状維持		
なかなか改善されない沿道環境		◎			 すやすや安眠 静かな生活	6. 夜間騒音要請限度達成率 国が管理する一般国道において、道県の夜間騒音が要請限度を達成してしている道路延長の割合。	54%	58% 【4%向上】	60% 【6%向上】 達成	63% 【3%向上】	7割に向上 (H19年度)	P23

※ 「バリアフリー化率」については、特定経路延長を精査（上下線別に計上していた延長を路線延長に修正等）し、実績値を見直しました。